

第 33 号

東北電子工業高等学校  
東北工業大学電子工業高等学校  
東北工業大学高等学校  
同窓会事務局

仙台市太白区八木山松波町5-1  
電 話 022(305)2111  
F A X 022(305)2114  
振替口座 02200-6-5819  
発行責任者 加藤 義夫

さい すい  
彩 翠 会 報

会長挨拶



彩翠会長 加藤 義夫

会員の皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、最近の社会情勢、経済情勢には大変厳しいものがあります。例えば高校卒業生や大学卒業生の就職内定率の低さは近年にない程の数字が出ておりますし、経済面においても、いつ

になつたら現在の長いトンネルから出られるのか等々と厳しい状況が続いております。でも唯々現状を嘆くだけでは何も始まりません。今の自分が為すべきことをしっかりと見極め、黙々と真剣に取り組むことが大切なのだと思えます。春の来ない冬がなかったように、現在の八方塞がり的情勢がいつまでも続くことは無いはずですが、現状が好転した時に大きく飛躍できるように、今、自らの意欲を高め、技術を磨いておくことが必要なのだろうと思えます。

聞いて大変よろこんでおります。就職担当の先生の話では母校OB（同窓生）の頑張っている会社への就職が少なくないとの話を聞いて、同窓諸兄諸姉の御尽力にも心からの感謝を申しあげたいと思えます。ほんとうにありがとうございます。

さて、例年十一月の第一金曜日に行つておりました同窓会総会ですが、母校や協学会（PTA）との話し合いで、もつと早い時期に出来ないかとの要望もあり、今年五月二十八日（金）に実施することが役員会で決定されました。準備も年度末の忙しい時期と重なつて事務局の作業も大変だつたようですが、今年に限つては、参加者人数が少なくても已むを得ないと思えます。出来るだけ友人知人にお声掛け下さつて盛り上げて頂きますようお願い致します。五月二十八日の再会を楽しみにしています。

幸い母校の就職状況は卒業前に全員内定の100%を達成したと

総会案内と事務局便り

第四十七回定期総会・懇親会の御案内

事務局長 永野 英明

総会日程が左記のように決まりましたのでお知らせ致します。

- 日時 五月二十八日(金)
- 一、総会 午後六時
- 二、懇親会 午後六時三〇分

場所 龍天江

(一番町江陽写真館裏手)  
電話〇三一一三三三三九三〇

- 会費 社会人 三,〇〇〇円
- 学生 一,〇〇〇円

総会には校長先生はじめ多数の恩師の先生方に御出席戴いております。

多くの方に声を掛けて、多数の参加を呼びかけて戴くようお願い致します。

ホームページにて同窓会の紹介をしております。ぜひアクセスして下さい。

「ホームページ」<http://www.tohtech-h.ed.jp>

御注意!!

同窓会や学校事務室の名前を使用し、同窓生宅や実家に電話をかけ、勤務先の電話番号等を聞き出そうとする業者が存在しているようですが、同窓会でも学校でもそのようなことは一切行つておりませんので十分御注意下さい。

母校創立五十周年 記念募金のお願い

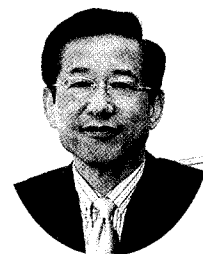
母校が創立五十周年を迎えるにあたり、各種記念事業が計画されており、事業の推進に向けての御寄付を募ります。

一口二千元で何口でも結構です。同封の郵便払込用紙にてお願い致します。手数料はかかりません。

◎同窓会費納入のお願い

印刷費や会報送料が年々膨らんでおり、更に母校の在校生数も減少して、厳しい財政運営を余儀なくされています。毎年会報の最終ページに同窓生の会費の納入者御芳名を載せて頂いておりますが、ぜひ、一ページ全てに御芳名を記載できるように、苦しい台所事情御賢察の上、年会費三千円の納入に格段の御理解を賜わりますようお願い致します。

# 学校長挨拶



学校長 久力 誠

## 創立五十周年を契機に

### 大きな飛躍を！

三年間工大高校の改革に道筋をつけていただいた矢吹隆志校長の後任として、四月一日校長の任を拝しました。もとより微力ではございますが、矢吹校長が植えられた幼樹が、立派な林に成長するまで心を込めて育て参りますので、前校長同様よろしくご鞭撻のほどお願い申し上げます。

去る四月七日、彩翠会会長のご臨席のもと、第五十回生三五二名（電子科一三八名・普通科二一四名）を迎え入れました。昭和三十六年に開校した東北電子工業高校から始まって、半世紀となる節目の年の入学生です。折しも、公立高校の全県一学区導入、完全男女共学化という

たびに驚きと共に畏敬の念がこみ上げて参りました。来年度に予定される五十周年記念式典を契機に、本校の一大飛躍を模索している折、彩翠会の皆様の多彩な力は何物にも代え難い強い味方です。

現在、「三年後のキミが自慢」

宮城県教育史上例をみない大改革が実施された年の入学生でもあります。厳しい切磋琢磨の中から選ばれた三五二名を、三年後に全員が「工大高校で学んだことが誇である」と胸を張って卒業できるようにすることが、入学を許可した私の最低限の使命であると心しております。と同時に、これで本校は創立一世紀の歴史に向かって、折り返し点に立ったこととなります。

私は昨年度から法人参与として、工大高校における先生方の授業力向上や、将来構想づくりに関わっており、この間に多くの同窓生の方々とお会いするチャンスに恵まれました。エレクトロニクスの分野は言うに及ばず、電子高校の卒業生とは思えないほど多岐に亘る分野で活躍されている姿を拝見し、その

のトップスローガン実現に向けて

校内外の環境整備を進めているところです。基本は、一日の生活と学習の流れをしっかりと組み立てる事にあるとの共通理解のもとに、今年度をスタートしました。一方、約三億一千万の予算を充て、老朽化した体育館とプール、立体駐車場を撤去し、屋外運動場と新たな駐車場、駐輪場を設置するなど、校舎周辺の再整備を実施します。教育内容に関しては、平成二十五年度からの新学習指導要領の本格実施を一つの目標に、大学と連携した工大高校ならではのカリキュラムの研究開発を進めます。

また、少子化の中で激化する学校間競争は、経営的にも深刻な問題です。私たちは今こそ本校創立時の精神と実績に立ち返り「宮城県随一の私立高校」を目指します。近々具現化のための

将来構想が法人から提示されま  
す。いよいよ幼樹を一本ずつ成  
木に育て上げる作業が開始され  
ますので、彩翠会の皆様方には、

これまで以上のご支援をお願い  
申し上げます。これまで以上のご支援をお願い  
申し上げます。

## 「母校創立五十周年記念募金に

### 絶大なる御支援、御協力を!!」

昭和三十六年四月、一番町の東北大学講堂で第一回入学式が行われ、今年の入

上の力強い協力を惜しまない決意です。

式となりました。これまでの約半世紀の間に輩出された卒業生（同窓生）は二万二千名を数えるまでになっています。

一昨年のリーマンショックで世界中がこれまでに経験したことのないような大きな経済的打撃を受け、いつになつたら今の長い長いトンネルから抜け出せるのか、細やかでも将来に希望の光を見い出せるのか、全く展望が拓けない中で大変苦しく申し訳ありませんが、一ページに掲載させて戴きましたように五十周年記念募金への御協力を切にお願いいたします。

振り返ってみますと、母校の十年、二十年、二十五年の節目の時、武道館アリーナ、一号館竣工の時、又平成二年の宮城インターハイの時等々母校の発展や、生徒の活躍を願い、学校後援会や協学芸会と綿密に連絡し、協議しながら共に手を携え、多少なりとも寄与できたものと思えます。

決して安い金額ではありませんが、今春卒業の第四十七回卒業生まで、二万二千同窓生の総力を終結して母校の更なる発展に大きく寄与できるよう、衷心よりお願い申し上げます。

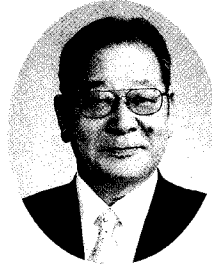
一口二千元

今回は五十周年記念の、これまでになく大きな節目となります。同窓会としても来年十月十九日の創立記念日に行われる五十周年記念の式典に向けて今まで

決意を込めてお願いいたします。

お世話になりました

前校長  
矢吹 隆志



創立五十周年を  
迎える

本校同窓会会員の皆様には、日頃母校の発展と後輩たる生徒たちへの「熱い思い」とお心遣いに感謝申し上げます。

本年入学生には同窓会のお計らいで、伝統ある校章をいただくことになりました。新入生諸君は校章を胸に着け、元気で明るく、有意義な高校生活を送ってください。ものと期待しています。

さて、本校は平成二十二年度に創立五十周年目を迎えます。名実ともに大きな節目の年度を迎えることに

なります。通常、高等学校は満五十年が過ぎた五十一年度に記念式典を開催することになっております。本校も慣例に従い平成二十三年十月十九日の創立記念日に、五十周年記念式典を開催するよう目下準備を進めているところであります。

学校としては本校が所属する学校法人東北工業大学理事会のご理解をいただき、記念事業として平成二十一年度から二十三年度の三年間を費やし、グラウンド整備事業と老朽化した第二体育館とプールを撤去し、あらたなスポーツ施設や新駐車・駐輪場の設置、校門の整備等の計画をお認めいただきました。

すでにグラウンド整備事業については、野球バックネット敷設やフェンスの設置、内野グラウンドの全面改修について、平成二十一年度に終了しております。二十二年度は第二体育館とプールの撤去と整地作業を、二十三年度は残りの事業を進めることとなります。

本校にはそれぞれ設立趣旨は違うものの、同窓会をはじめ学校後援会、協会の

の学校発展を願う強力な会があります。二十二年度早々には学校とこの三者で、創立五十周年記念事業実行委員会を設立していただき、いかに創立五十年の記念日を迎えるかについて、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

平成二十二年度には、本校創立以来はじめて、学校として同窓会事務局業務をお引き受けることになりました。学校の総務部がその任に着くこととなります。実施にあたっては様々な課題があるかと思いますが、同窓会役員会様と円滑な関係を築き、同窓会後半世紀五十年の発展のために尽力していきたいと考えています。

同窓会は草創期の同窓会会員が退職時期を迎えるまでが青年期、それからが成年期と言われます。今後一〇〇周年に向かつての工大高同窓会の真価は、これから問われる時代に入るのだろうかと思っております。

最後に同窓会会員の皆様

個人情報の取り扱いのお願い

会長 加藤 義夫

個人情報の取扱に関する件で何か申し出がある場合には、お手数ながら下記のフリーダイヤルにご連絡をいただくか、学校へ郵便にてお申し出下さい。

お電話による場合 株式会社廣濟堂 データベース部(業務委託会社)  
☎0120-058-651 お客様相談センター(受付時間/平日10:00~17:00 日・祝・土除く)  
お手紙による場合 東北工業大学高等学校 同窓会事務局  
〒982-0836 宮城県仙台市太白区八木山松波町5-1

有限会社 青葉自動車工業

専務取締役 青木 宣泰 (二十二期生)

仙台市宮城野区扇町五丁目八十九  
TEL 〇二二一三三六一三五七〇  
FAX 〇二二一三三六一三五七六

ホテルレオパレス仙台

マネージャー 青山 佳夫 (二十一期生)

仙台市宮城野区榴岡四丁目二八  
TEL 〇二二七〇六〇〇〇一  
FAX 〇二二七〇六〇〇〇二

株式会社 キョーワテクノ

代表取締役 浅野 倫正 (二期生)

仙台市宮城野区若切二丁目一五  
TEL 〇二二一五五五〇一八八  
FAX 〇二二一五五五〇一九〇

株式会社 廣濟堂

文教ソリューション部 仙台営業所 所長 石井 幹雄 (十五期生)

仙台市若林区舟丁十八丁目二  
TEL 〇三三一三三四一七五八五  
FAX 〇三三一三三六一六八八三

株式会社 北州

代表取締役 石塚 博文 (十四期生)

仙台市青葉区立町三丁目一  
TEL 〇二二一六二一〇〇四〇  
FAX 〇二二一六二一〇〇六〇

専門学校 花壇自動車大学校

広報部長 猪股 宣明 (十五期生)

仙台市青葉区花壇八丁目一  
TEL 〇二二一三三三三三八三八  
FAX 〇二二一三三三三三九〇四

英語科

針生 和夫



出る話ですが、電気関係は  
てんでだめだから頭の中は  
何時も大学進学のことだけ  
だった、と。

実習のレポートは何時も  
私が代筆、提出。そんな彼  
も、企業戦士として戦い抜  
き、今ではつるつるの頭で  
悠々自適の生活を送ってい  
ます。

電子高校、工大高校の私  
の思い出は他にも沢山あり  
ます。

昭和三十七年四月の採用  
から四十八年が過ぎました。  
何時の間に四十八年という  
年月が流れたのか・・・気が  
が付いたら四十八年という  
ことです。そのときはまだ、  
十七歳でした。

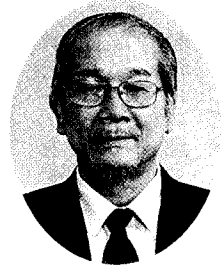
心に残っていることは沢  
山ありますが、印象に残る  
出来事があります。それは  
中学時代の同級生が目の前  
で電子実習をしていた時の  
ことです。

彼は私より遥かに成績が  
良いのですが、市内のナン  
バースクールの受験に二度  
失敗し、電子高校に入学し  
ました。

ところが、彼はあまり実  
習に熱が入っていないよう  
でした。今では会うと必ず

体育科

倉内 正好



一年の行事を振り返つての  
思い出

思い出

昭和四十三年三月、日本  
体育大学を卒業。四月一日

生徒の海外研修の企画担  
当を任せられたときは、一体  
どうなることやらとはらは  
らしましたが、この企画が  
私の生き方である「根性、  
はつたり、そして開き直り  
の精神」をもたらししてくれ  
たのです。この精神が私の  
人生の支えとなつていろの  
です。

工大高校、そして同窓会  
の皆さん長い間お世話にな  
りました。今まで本当にあ  
りがとうございました。

けでしたが富士登山があり、  
そののちは、月山登山や栗  
駒登山に変わりました。夏  
休み終了後、校内競技大会  
がありました。種目はその  
年により変わりましたが、  
ソフトボール、サッカー、バ  
スケットボール、バレーボ  
ール、卓球、水泳競技、水球  
等でした。秋にはマラソン  
大会、電子工祭のちの工大  
高祭がありました。この電  
子工祭のために、体育の授  
業でフオークダンスの練習  
をしました。男同士で恥ず  
かしかったこともあつたよ  
うですが、皆さんは一生懸  
命になつて覚えしました。そ  
のようなこともあり、中庭  
で行われたフオークダンス  
では、所狭しと二千五百人  
以上の方々で一杯になり踊  
りました。冬になりますと、  
山形蔵王でのスキー学校が  
ありました。夜の他校との  
交流会、楽しかったですネ。  
最後の行事はその年のしめ  
でもある卒業式。これを四  
十二回も繰り返してきたわ  
けです。

育祭。団体種目の演技では、  
一年生はエッッサッサ、二年  
生は組体操、三年生はソウ  
ラン節でした。夏は、一回だ  
れますよう祈っています。



ナショナルエレベーター工業株式会社

取締役  
相談役

大場 律夫

(三期生)

仙台市青葉区上愛子字松原四七一二  
TEL 〇二二一三九二一八〇八〇  
FAX 〇二二一三九二一八〇八八

有限会社 小野商店

代表取締役

小野 光荣

(二期生)

伊具郡丸森町大内七夕西二十七一  
TEL 〇二二四一七九一二五四三  
FAX 〇二二四一七九一二八一九

コールテック株式会社

代表取締役

小幡 早苗

(四期生)

仙台市太白区西中田七十一  
TEL 〇二二一三〇六一三三三五  
FAX 〇二二一三〇六一三三三〇

K・Tプラン

代表取締役

柿 沼 馨

(十六期生)

仙台市宮城野区榴岡三十七二七八〇四  
TEL 〇二二二九五一一二六四六  
FAX 〇二二二九五一一二六四六

株式会社サンペンディング東北

代表取締役

加藤 義夫

(二期生)

仙台市若林区六丁目南町二二二八  
TEL 〇二二二八七一一四五四一  
FAX 〇二二二八七一一二八六九

前宮城県議会議員

岸田 清美

(下期生)

仙台市太白区長町一三二二六二〇三  
TEL 〇二二二四八一一八八八  
FAX 〇二二二四八一一八六三三



電子科  
三浦 弘則

### すばらしい生徒との 出会い

電子工高、工大高の同窓生の皆様方お元気ですか。私こと、このたび退職しました。

昭和四十三年(一九六八)四月が教員の始まりでした。その年度の在校生は三年生が六回生、二年生は七回生、一年生は八回生でした。担当学年は二学年の副担任で、部活は陸上部副顧問、山岳部副顧問、そして生と指導部では風紀委員会担当として駅前バス停指導は忘れられません。何もかも新しい仕事にスタートしたことを今でも鮮明に想い出されま

あり持論である生との「目線」で教育に取り組みしました。

教育現場は「筋書のないドラマ」色々な出来事の連続でしたが自分としては全て苦にならないで教員生活を明るく全力で終ることができたと思っています。

これも頼もしい生徒達との出会いがあったからだと思っております。本当にありがとうございます。

これからは新しい可能性を求めながら、多くなる自由時間を有効に過ごしたいと想っております。同窓生のますますのご活躍を願っています。



電子科  
石田 憲治

### 退職しました

小中高時代担任の先生に恵まれ、教師という職業に憧れ、幸いにしてその希望が叶えられ電子高校(工大高)に勤務できたのは昭和

四十四年四月である。まだ学生気分が抜けず下駄履きで通勤し、生徒とは友達感覚で付き合い、自分自身まだまだ青春をしていた時代を思い出している。この学

校を卒業して母校の教員として戻り、先生方はほとんど恩師であり、まだまだ高校生の兄貴気取りだった頃。それでも新設高校であり、先生方は熱気にあふれ、生徒も自分達で校風をつくる、という意気込みでの学園生活、八木山が活気に満ち溢れていた時代であった。工大高は今年で創立五十

年目を迎え、半世紀の歴史を刻んだ。

校長先生は初代宮城先生から宇野先生、塩沢先生、五島先生、小川先生、大矢先生、大友先生、濱部先生、和田先生、小野先生、矢吹先生と変わり今年度から久力校長先生をお迎えすることになった。

その間、校名変更があり、校舎は創立当時の物は全て無くなった。同窓生の皆様はこの五十年の歴史の中で、どの校舎で、どの校長先生の時代に学園生活を過ごしたのでしょうか。

私は四十一年間勤務した工大高校を、この三月に退職しました。新米先生が生徒に教えられ、先生方、保護者の方々の指導を仰ぎ何とか今日を迎えることができました。最後まで自分のスタイルで仕事ができたと感謝しながら第二の人生を過ごしていきます。

同窓生の一人一人に御礼を申し上げたいところですが、この紙面をお借りして御礼を申し上げます。同窓生の皆様、本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願ひします。



### 京王観光株式会社仙台支店

支店長代理 木田 勝政 (二十五期生)

仙台市青葉区本町一丁目一五  
TEL 〇二二一三三三三  
FAX 〇二二一三三三三

### 有限会社クラフト

代表取締役 河野 照一 (八期生)

仙台市青葉区宮町一丁目一五  
TEL 〇二二一三三三三  
FAX 〇二二一三三三三

### 株式会社小島蒲鉾店

代表取締役 小島 浩 (十六期生)

塩釜市藤倉三丁目一七  
TEL 〇二二一三三三三  
FAX 〇二二一三三三三

### マリンピア松島水族館

館長 西條 正義 (四期生)

宮城県松島町浪打浜十六  
TEL 〇二二一三三三三  
FAX 〇二二一三三三三

### 株式会社インタージエム

代表取締役 佐藤 郁雄 (三期生)

仙台市青葉区中央一丁目一七  
TEL 〇二二一三三三三  
FAX 〇二二一三三三三

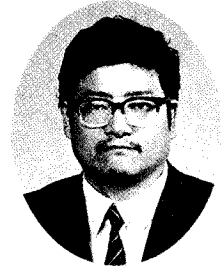
### サカツオートサイクル

代表 佐藤 浩司 (十九期生)

仙台市青葉区中山二丁目一三  
TEL 〇二二一三三三三  
FAX 〇二二一三三三三

社会科

篠崎 隆夫



全てが思い出

三十代の半ばから二十四年間の在職でした。これからは二口の自然を相手に暮らします。

全てが思い出ですが、代表して三つ紹介します。

二回目の担任の体育祭でした。当時の体育祭は連合チームで得点を競う形式で、各連合は土気高揚のため連合のシンボルを作製しまし

た。私の連合は高さ5m以上の自由の女神を模した木造を三週間位かけてつくり上げました。今思うと生徒も私もよくあんな事をと不思議な気もしますが、体育祭当日グラウンドにしっかりと立った時の気持ちは今でも忘れません。クラブでは山岳部、囲碁

部の顧問をしました。ある年の十月末の栗駒登山が忘れられません。想定外の季節はずれの猛寒波に見舞われ、駒の湯温泉の近くに張った二つのテントは、一つが突風で破損し、一つは私のミスで焼失しました。

部員とともにひたすら寒さに耐えました。朝陽の光が始めると生き返った気がしました。

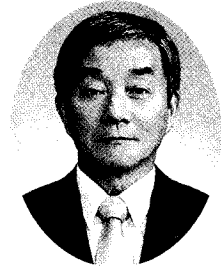
授業中の思い出が、色々

とたくさん残っているの。言うまでもありませんが、最後に受け持った一年生の三クラス、とりわけ九組での授業は教師としての私の宝物の一つと考えています。何の変哲もない私の授業を、よくもじっくりとまじめに取り組んでもらいました。大いに感謝します。

あの校舎、この教室、中庭とそこの草や木、それら全てを照らし吹き抜ける光や風、そんな空間での生徒諸君の元気な話し声、愉快な笑い声、...全てが一步一歩確実に遠い過去のものとなっていくますが、思い出は胸にしっかりと生きつづける。と確信しています。

電子科

小野 悠



感謝

振り返ってみれば、ほんとうにあつという間の四十年間であつたように思います。多くの生徒達との出会いの中から多くのことを学び、共に育つたというのが実感です。初めて結婚式の案内をもらった時、うれしくて涙が出たこと、挨拶の時、緊張して何を話したかもわからなかったこと、四十年で

四百以上の式に招かれ、仲間も何度もさせて戴いて、教員の喜びは巢立つた生徒達とどんなとき合いが出来るかに尽きるのではないかと感じました。高速道のサービスエリアで、知人の葬式で声を掛けられ、名前を呼んだ時、この上無い程の笑顔を見せてくれて、何度この仕事について良かったと思つたことか。

は、ほろ苦い思い出も少なからずあります。でもそれらを補つて余りある程たくさんの方に残る大切な思い出、財産があります。退職を機にこれまで培つて来たものを心の糧として、尾瀬を守ることに力を注いで行きたいと思つています。

四十年の教員生活の中には、

は、ほろ苦い思い出も少なからずあります。でもそれらを補つて余りある程たくさんの方に残る大切な思い出、財産があります。退職を機にこれまで培つて来たものを心の糧として、尾瀬を守ることに力を注いで行きたいと思つています。

四十年の教員生活の中で常に生徒達の訴えて来た、「今の自分が、困っている人に何か出来ることはないか」との言葉を、これからは自らに課し、精一杯生きて行こうと思つています。長い間支えて戴きました多くの方々に心からの感謝を捧げます。

以上の先生方の他に次の方々も退職されました。

事務 太田 道子 (高校勤務十六年)



図書館 永沼 満子 (高校勤務三年)



丸吉電機株式会社東北支店

支店長 志子田 秀之 (二十一期生)

仙台市若林区御町三二五七 TEL 〇二二八四一三〇三五 FAX 〇二二八四一八六四〇

株式会社 システムズ

代表取締役 島田 信一 (四期生)

仙台市若林区御町二一五一四 TEL 〇二二一三八一〇〇四一 FAX 〇二二一三八一〇〇八二

有限会社 鈴木防災設備

代表取締役 鈴木 康志 (六期生)

仙台市泉区南光台三二四一八 TEL 〇二二一三三四一五六一八 FAX 〇二二一三三九一〇〇六八

株式会社 泉タクシー

代表取締役 高平 孝雄 (二期生)

仙台市泉区七北田字新田二二一 TEL 〇二二一三七二一一一三三 FAX 〇二二一三七三一一九九七

株式会社 登米プラス

営業部長 武山 祐樹 (三十七期生)

名取市七余田字千刈田五四三一一 TEL 〇二二一三八三三五八八 FAX 〇二二一三八三三五七〇一

前衆議院議員

土井 とおる (十四期生)

仙台市青葉区二日町十一一十二 TEL 〇二二一六二一七二二三 FAX 〇二二一六二一七二二三

# 彩翠会「同期会」の紹介

母校卒業後、ある程度の年月を重ねますと、母校のこと、恩師のこと、友人のこと等が無性に懐かしく浮かんでくるものですが、これらの感情は、人が生きて行く上で極自然に沸き上がってくるものと思います。

これらは、故郷を離れて遙かな時が流れた時に、今は賑やかな都会の雑踏と喧噪の中に身を置いていても、赤トンボを負いかけた山や魚と戯れた小川のことなどがふと頭を過ると同じものなのかもしれません。

母校を卒業したOBの人たちが同期会を組織されており、事務局で把握している分を紹介しておきますので参考にして下さい。又、ここに記載されていない同期会の組織がありましたら、お手数をおかけしますが事務局まで御連絡下さるようお願い致します。

又、新たに同期会を発足する等は、住所シールの提供等も可能かと思えますので御相談頂きたいと思えます。

## ○四期会（昭和四十二年三月卒業）

世話人 荒井 幸雄  
H P [sdnet.ne.jp/denshi/top.htm](mailto:sdnet.ne.jp/denshi/top.htm)  
〒九八四一〇〇一五

仙台市若林区御町二丁目五一四

Sビル二階 (株)YUCOM気付

TEL ○二二一三八五―五九二二

FAX ○二二一三八五―五九二二

秋に総会を予定しています。

## ○六期会（昭和四十二年三月卒業）

電子科 世話人 湯村 隆

〒九八四一〇〇三八

仙台市若林区伊在字南通二九一〇

TEL ○二二一七八七―二一七〇

FAX ○二二一七八七―二一七五

普通科 世話人 鈴木 康志

〒九八一八〇〇三

仙台市泉区南光台三二二四一八

TEL ○二二一三三四―五六六一

FAX ○二二一三九九―〇〇六八

今年は還暦の祝いを左記の通り行ないます。奮って御参加下さい。

尚、案内が届かない時は事前に連絡下さるようお願い致します。

### 「還暦の祝」

・日 時 六月十二日（土）

・場 所 パレス平安

・お払い 十八時〜

・祝 宴 十八時三十分〜

・会 費 七千円

## ○二期会（昭和四十年三月卒業）

世話人 石田 憲治

〒九八一―一〇一五

仙台市太白区西中田五丁目六一二〇

例年、年始めに同期会を開いています。

連絡の届いていない方、お知らせ下さい。

## 戸部電材株式会社

代表取締役 戸部 正 (五期生)

岩沼市押分字南谷地八六一五  
TEL ○二二一三五―五六七〇  
FAX ○二二一三三―三三―七四〇一

## 本田設備設計

代表取締役 本田 十三男 (二期生)

仙台市太白区西中田六六一一  
TEL ○二二一四二―〇三七〇  
FAX ○二二一四二―一三二四一

## 太平電気株式会社

事業本部 代表取締役 前澤 博 (六期生)

仙台市青葉区上杉三一九―五九  
TEL ○二二一三五―五五九一  
FAX ○二二一三五―六七〇九

## 森勇建設株式会社

代表取締役 森 育夫 (三期生)

仙台市宮城野区燕沢東一―〇一  
TEL ○二二一五二―八八五五  
FAX ○二二一五二―八八四五

## 奥田建設株式会社

営業部長 横山 徹 (十期生)

仙台市青葉区八幡六一九一  
TEL ○二二一七五―一三三  
FAX ○二二一七五―一三三

## 大全電機株式会社

代表取締役会長 吉田 敏男 (二期生)  
代表取締役社長 吉成 幸平 (二期生)

仙台市若林区御町東五―七―一八  
TEL ○二二一八八―〇七〇一  
FAX ○二二一八八―〇七〇五

平成20年度決算書

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増△減, 備考. Rows include 収入の部, 支出の部, 総務費, 事業費, 予備費, 残高, and 基金現在高.

監 査 報 告

平成21年度4月4日 東北工業大学高等学校において
1.現金出納帳 2.預金通帳 3.現金 4.領収書
等を精査した結果、記載の通り相違ないことをご報告致します。
平成21年4月4日

監事 柿沼馨
監事 石井幹雄

同窓会費納入者御芳名

平成22年4月1日現在 期順、音順(敬称略)

- List of members and their contribution periods: ◆電波生 渡辺尚親 ◆1期生 相原洋一 石田勝 大場久吉 小野悠 加藤義夫 菊地常信 桑原紘和 桑折孝雄 佐々木勝夫 庄司武 長岡由彦...

編 集 後 記

いつも快よく原稿をお寄せ下さる諸先生、同窓生の皆様のご協力で第33号が完成いたしました。厚くお礼申し上げます。
ご意見、ご要望がありましたら編集委員までお寄せ下さい。

編集委員 永野、藤井、千葉、鈴木